



山本 良一

環境技術革新を引き起こし、普及させる。

エコエフィシエンシーとエコデザイン技術特別研究会

RC-17

1. 代表幹事

山本良一（東京大学 生産技術研究所 教授）

幹事

小田克郎（東京大学 生産技術研究所 准教授）
 鈴木淳史（横浜国立大学大学院 環境情報研究院 教授）
 中原秀樹（武蔵工業大学 環境情報学部 教授）
 益田文和（東京造形大学 教授）
 木俣信行（鳥取環境大学 教授）
 足立直樹（株式会社レスポンスアビリティ 取締役）
 森田一樹（東京大学 生産技術研究所 教授）
 安達 毅（東京大学 生産技術研究所 准教授）

連絡先

山本良一

Tel : 03-5452-6303

Fax : 03-5452-6305

e-mail : yamamoto@iis.u-tokyo.ac.jp

2. 主旨

本研究会は「環境に配慮した新しいモノづくりと持続可能経営」を環境効率（Eco-efficiency）とエコデザイン（Eco-design）の見地から考察する研究会として1999年に発足し、略称をSPEEED（Special Project on Eco-Efficiency and Eco-Design）としております。2007年度は65社のご参加をいただき10回の研究会を開催致しました。

「低炭素・循環・共生型社会をどう実現するかー日本の環境イノベーション戦略ー」をテーマに箱根・小田急山のホテルで研究会を開催し、「IPCC第4次報告書、環境安全保障、イノベーション25、エコイノベーション、エコライフ、エコナビゲーション等」について活発な討議を行いました。特に日本のエコイノベーション推進戦略につきましては多くの側面から議論致しました。

9月に北極海氷が人工衛星観測史上の最小面積425万平方メートルを記録してチップングポイントを越えたと指摘されているなどの情勢の変化を受けて、SPEEED研究会は11月に緊急研究会「気候変動のしきい値ーチップングポイント」を開催致しました。

2008年度は主として以下の研究を行うことを目的とします。

- (1) 欧米の包括的環境経済政策、環境ビジョン、エコイノベーション戦略などの新しい環境動向を調査し、エコプロダクツ開発戦略、環境経営戦略について討議する。
- (2) 日本のエコイノベーションの推進戦略を取りまとめる。
- (3) CSRに則ったサステナブル・ビジネスモデルについて討議する。

3. その他

期 間 : 平成20年4月～平成21年3月

年会費 : 20万円

※特別研究会は賛助員を対象にしていますので、未入会の場合は同時入会が必要です。(賛助会費一口10万円)

定 員 : 企業数…制限なし 1社2～3名

運営方法 : (1) 年5回程度の定例研究会を中心にして、上記の3課題について討論し、
 成果を様々な形で取りまとめ公表する。

(2) 定例会の他に平成20年4月18、19、20日箱根プリンスホテルで特別研究会を開催する。